

令和5年度 動物愛護事業推進基金充当額：7,212,049 円

1. 犬猫の飼養管理：3,091,157 円

（充当例：子猫用フード、猫用ペレット、ペットシーツ、動物用医薬品の購入費等）



京都動物愛護センターに保護された犬猫たちの世話のほか、病気やケガの治療、ワクチン接種など、新しい家族を待つ間の健康管理を行います。また、保護された犬猫たちが新しい家族を待つ間、健康に過ごせるよう施設の整備を行います。

2. 動物愛護教育：758,212 円

（充当例：動物愛護副読本の印刷費等）



小学校、幼稚園、保育園などで、命の大切さや動物との接し方を知ってもらう「きょうとアニラブクラス」を開催しています。また、子供向けの動物愛護教育の教材を配布し、学校教育での活用を支援しています。

3. 動物との関わり方の啓発：1,427,573 円

（充当例：リーフレットの印刷費、京都動物愛護フェスティバル開催の委託費等）



「飼い方教室」などの動物との正しい関わり方を学ぶイベントや、ペットの高齢化による介護・ケア、飼い主の急な入院などによる飼育困難への備えに関する相談会・セミナーを定期的に開催しています。



また、動物愛護週間（9月20日～26日）には、動物愛護と適正な飼養に関する理解と関心を深めていただくため、関係団体と協力して「京都動物愛護フェスティバル」を開催しています。

4. ボランティアとの協働：1,646,700 円

（充当例：機関誌の印刷費、ボランティアコーディネートの委託費等）



京都動物愛護センターでは、動物愛護への高い関心と知識を持つボランティアスタッフの方々と共に、京都動物愛護センターの機関誌や展示物の作成、啓発事業の実施などに取り組んでいます。

5. ペットの災害対策：288,407 円

（充当例：災害備蓄用のケージ・動物用医薬品購入費等）



京都動物愛護センターに被災動物のためのケージや動物用医薬品の備蓄を行うとともに、講座を開催したり、避難訓練に出向いて啓発を行っています。